事務	事	業実約	責測定調	書													
事	務事業	業名称	帰国児童等	ほに対する まんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ しゅう	效育指導員	派遣事業											
ž	則定年	∓ 度	202	21(R3)年度			部	7	学校教育部	ß	課	児重	直生徒支援詞	果			
市長	公約	上の関係	所信表	明	F	 方政運営方針	R2		R3		R4						
11120	<u>بر بر بد</u>	_ ~ / / / / / / /	72 1 11 1 4 4	基本目標		一人ひとりの		豊かた心を			1,1						
经会	스타	画体系		金年日 <u>禄</u> 拖策目標		パロこう。ク 6.子どもたちの				<u>‡ち</u>							
ilve, i		=1 14.71		行計画名	1	0.120/2.50	\т.с. <u>9</u> /1 с	. H & & H //	JL X UICa	K-17							
1 事	森重	事業の概		. 17 11 12 14													
	種类			民サービス		特性		選択的	有事業		区分		一般事務	事業			
1	事業其		.,.,		62)年度	1712	年度	~	V 7 7/4					年度まで			
	拠法		決裁		, , , , ,									100			
	137	金名称	V 4774							サンセット			~				
		機関名称								72 271							
対が	训馬的	成因石砂	1 /> =	/ * 1	H 1.3T €			旧本小社									
				ーゲット		理解が困難な											
3	事業対	付象	, , ,	ーゲット	日本語の	理解が困難な	は帰国・渡日児童生徒の保護者										
			_	が抱える課	日本語の	理解が困難で	で学校生活・	で学校生活への適応の促進に努める必要がある。									
				<u> </u>			, Maria		C/C(-)		,,						
				が抱える課	通訳者の	確保											
и	うざす	· 7/27	及	題													
あ	らるべ	き姿 決した状	日本語の理いる状態。	日本語の理解が困難な帰国・渡日児童・生徒すべてが学校生活を快適に過ごし、学校と児童・生徒及び保護者との間で意思疎通が図れて いる状態。													
	123 /	,															
1	事業概	既要	帰国渡日1年目の対象児童・生徒に教育指導員を週2回、2年目は週1回派遣している。														
2 [28	クエギョ	レース プレスび指標														
Z. H	77	ノレノル	/及い111示		1 4 /		ı		- °		ı	۷۰ -	- °ı				
					トカム 対効果)			アウト (活動				イン ⁷ (活					
				(/0,5	1MA/			(70 3)	<u> </u>			(/0	3 1/				
口乡	>ック -	モデル				日児童生徒 し、学校と保	教育指導員派遣により、日本語及び教科の学習の支援等を行う。						に対して対応	芯できる教			
			護者との間	で意思疎通	が図れて	いる状態。	首の又抜寺を117。				育指導員を派遣する。						
					トカム			アウト				イン					
Г					<u>物果)</u>			(活動	結果)			(活	動)				
				が指導を受	けてよかっ	たと感じてい											
			る割合	に印の 歩去:	細和ナマサ	コテルス円		生徒に対す									
	指	標説明	【算出式:株			げて、うれし				数/児童・生	教育指導員	員の派遣回数	t t				
	101					的回答をした	徒の必要打	旨導回数×1	00]								
			人数/回答			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,											
					単位	%		1	単位	%			単位	口			
指	指	標種類	増加	することが			増力	ロすることが良			増加]することが且					
標	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
設定	標 数	日標 (見込み)	100	80	80	80	2,100	100	100	100	100	2,100	2,100	2,100			
	値	実績	100	76.10			1,360	100			100	839					
	達	成度		S	5%			10	0%			40)%				
	3	分析	校内支援体制の充実や日本語指導加配教員 の巡回指導等において少数散在している状況の中でも、児童・生徒が満足できる指導を 行うことができた。					から指標変見 児童・生徒にた。			令和3年度から指標変更(以前は派遣率)。新型コロナウイルス感染症拡大防止の国の方針により、外国からの渡日が制限されたことにより、対象児童・生徒数が少なかった。						

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.37
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	561	3,350	2,907		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
歳	件	特別職非常勤	-	0	0		
出	費	附属機関委員	-	0	0		
ш		人件費計	561	3,350	2,907		
	物件	費計	5,575	6,820	4,220	7,680	55%
		歳出計	6,136	10,170	7,127		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0	
		一般財源	6,136	6,820	4,220	7,680	

5. 総括的分析

令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、諸外国から来日する児童・生徒が減少したことにより、教育指導員の指導回数が減少し <mark>総括的分析</mark>た。しかしながら、教育指導員の派遣により、児童・生徒すべてが学校生活を快適に過ごすために支援ができ、懇談等における通訳や進路ガイダン ス等で学校と保護者の意思疎通を図ることができた。

6. 今後の方向性 区分 ^現 現状維持

今後の 帰国・渡日外国人児童・生徒の学校生活への適応促進のため、今後も継続して支援を実施する。 取組方針

事務	务事	業実績	責測定調	書													
事	務事	業名称	人権教育推	進事業													
;	測定	年度	202	1(R3)年度			部	7	学校教育部		課	児童	直生徒支援調	果			
市長	公約。	との関係	所信表明	明	市	政運営方針	R2		R3		R4						
			1	基本目標		一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	育むまち								
総	合計	画体系	ħ	拖策目標		.子どもたちの				ち							
				行計画名													
1. 事		事業の概		□ 11 18×		4+44		vaa.Lm.£	L 士 业		- A		6n±- 76	. - الد علاد			
7	種類 事業類		巾」	民サービス 1073 (S	48)年度	特性	年度	選択自	り争業		区分		一般事務	年度まで			
	製拠法		決裁	1313(3	10) 平反		十戊							十及より			
		金名称	DC390							サンセット			~				
		幾関名称								72 271							
1211771	P111/1-41	X X 1 1 1 1	メインタ・	ーゲット	人権教育:	担当の教職員	1										
			サブター					徒									
3	事業	计象	サブターゲット 市内小中学校に通学する児童・生徒														
	子	-135	ターゲット <i>た</i> 見		人権教育	基本力針に基 担当の教職員 开修を継続し	の交代や	多様化•複雑									
			ターゲット だまり また	_													
あ	かざす あるべ が解 態	き姿 決した状	人権教育の	充実と教職	員の人権	意識の一層の)向上が図ら	っれている状	態。								
Į	事業権	既要				教育を適切に 協議会を通								で育の推進			
2. 🏻	ジッ	クモデル	及び指標	及び指標設定													
				アウ	トカム			アウト	プット			イン	プット				
				(活動	効果)			(活動	結果)			(活	動)				
D)	ジック ・	モデル	人権教育のの向上が図			意識の一層	人権教育担当教職員が人権について正しい 理解を図る機会が増える。				人権につい修等を実施		理解を図れ	るよう、研			
					トカム		アウトプット					イン					
Г				(活動	効果)			(活動	結果)			(活	動)				
41-	指	標説明	各種研修を 「人権意識/ 【算出式:「, 人権教育担 × 100】	が向上した 人権意識が	と感じてい 向上した」。	る割合 と感じている	大阪府人権 の参加教職	霍教育研究協 战員数	協議会等に。	よる研修等	人権に係る研修回数						
指標					単位	%			単位	人	1	ĺ	単位	П			
設	指	標種類		することが」	良いとされる	5指標]することが且	見いとされる	指標]することが良	見いとされる	指標			
定	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
	標数値	日保(見込み)	100	100	100	100	562	570	580	590	12	12	12	12			
		実績	100	100	00/		549	564	20/		17	13	00/				
	通	E 成度		10	00%		99%				108%						
	:	分析	研修を通じ 教職員全体				令和2年度に比べ微増した。研修主催者も開催方法を工夫して研修を実施した。				書面開催やオンライン開催など、研修数は令和2年度より減少したが、内容については充実した研修であった。						

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.42
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。 (チ円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付		3,828	3,300		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)			0		
歳	件	特別職非常勤			0		
出	費	附属機関委員			0		
ш		人件費計		3,828	3,300		
	物件				1,234	2,146	58%
		歳出計		0	4,534		
	国庫	支出金		0	0	0	
	府支			0	0	0	
歳		者負担(使用料・手数料)		0	0	0	
入	市債			0	0	0	
	その			0	0	0	
		歳入計		0	0	0	
		一般財源		0	1,234	2,146	

5. 総括的分析

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催やオンライン開催の大会が多かった。研修を受けた教職員は、教育活動におい <mark>総括的分析</mark>て人権教育を適切に位置づけ、校長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育を進めることができた。大会を開催するため、総合文化芸術セン ターの使用料を予算化していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止になったため、執行率が低くなっている。

6. 今後の方向性 区分 ^現 現状維持

今後の 取組方針

今後も、本市小中学校における人権教育の推進を図るために、継続して人権教育の研究等に取り組む。

事利	务事:	業実網	責測定調	書												
			総合的教育		事業											
	測定年	F度	202	1(R3)年度			部	ř	学校教育部	5	課		童生徒支援	課		
市長	公約と	の関係	所信表明	児	市	政運営方針	R2		R3		R4					
			基	基本目標		一人ひとりの		、豊かな心を	育むまち							
総	合計画	画体系		地策目標		.子どもたちの				ち						
				行計画名												
1. 事		業の概		7 11 2 2 2 2		44.14		\33 Lm./	1				án de z	<i>-</i>		
	種類 事業其		巾具	民サービス 2000 (H	19) 年度	特性	年度	選択!	内事業		区分		一般事績	条争業 年度まで		
	要未为 艮拠法		決裁	2000 (11	14) 平皮		十尺						<u> </u>	十尺よく		
		2. 4 	DC390							サンセット			~			
		機関名称								72 271						
אונגו	1111124112	XIXI 1117	メインタ-	ーゲット	中学校区院	内の子ども										
	+ ** +	1 <i>4</i> 5	サブター			内の地域ぐる	みで子ども	を育む大人								
	事業対	可家	ターゲットカ			,,,,	, , , , ,		∞ HE 3 .)	***・**						
			題		生さる刀が	が備わってお	らす、また居	任する地域	への関心だ	1) 希溥である	0					
			ターゲットカ		安全面や行	衛生面、活性	北などの地	域の諸課題	について	子どもととも	に解決に取り	り組む場がん	<i>いたい</i>			
	1 10 <u>+</u>	`An	是		Z L L	ншш	212 00	190 - 1111000		, = 0==0	-/1/001-701) // LL U // // /				
	かざす あるべ		エ ども. 一 1 7	子ども一人ひとりの「生きる力」が育まれるとともに、地域社会において児童・生徒の理解が進み、学校と連携して子どもの成長を支える意識												
			が醸成された		G,971]11. E	まみいのここひ	() () () ()	₹(C40V·C)	儿里 工作	が生性が定め	7、子仅C座	1750 () ()	3V711X IX .C. /	えん 心心 映		
	態)															
			19中学校区の各地域教育協議会が中心となって、子どもの様々な体験活動の機会や場を提供し、地域との交流を持つことで「子どもの生き													
			る力」と「地址	或力」を育む	P.o											
	事業根	要				1(広報紙の多										
						文入学前の子 「るための工							9 つ取組(非	 取場体験字		
習協力等)⑥活動の安全を確保するための工夫(安全パトロール等)⑦その他(清掃活動等)の事業を委託する。																
2. ⊏	2. ロジックモデル及び指標設定															
				アウ	カム			アウト	プット			イン	プット			
				(活動	効果)			(活動	結果)			(活	動)			
D 3	ジック=	Eデル	子ども一人で				市 知 の 字 世	包により、地均	北仏人によ	けて旧辛.	友地は数本物業人とは 2 11 と フル cam					
			もに、地域社会において児童・生徒の理解が 進み、学校と連携して子どもの成長を支える					理解が進む			各地域教育協議会を中心とした、子どもの課題を共有化する取組を実施。					
			意識が醸成されている。								,	2 / 2 / / / / = 2	<i>> <!--</i-->20</i>			
			アウトカム (活動効果)						·プット 結果)				プット ·動)			
			<mark>(沽動効果)</mark>					(/白到	和木/							
	+5+	==∺ □□	子どもの課題を地域に共有化した中学校区数				広報誌、機	関紙の発行	部数			題を共有化				
	181	票説明									誌・機関紙を発行した地域教育協議会数 単位 校					
	+64	西1手 坐下	194-5-0	上ファレル:	単位	校	194-4-1	ユーファ しょご	単位	部	単位 単位 単位 単加することが良いとされる指標					
指		票種類	增加 R2	することが』 R3	えいとされる R4)指標 R5	增加 R2	コすることが [R3	えいとされる R4)指標 R5	增加 R2	することか! R3	良いとされる R4	指標 R5		
標 設	指標	日信	ΝZ	No	174	NJ	NZ	No		No	ΠZ	No	174	NJ		
定	数	(見込	19	19	19	19	80,000	80,000	80,000	80,000	19	19	19	19		
	値	<u>み)</u> 実績	19	19			51,500	38,350		1	10	9				
	達	成度			0%	1			1 <u> </u>	1			7%			
			コロナ禍で活	千重かが生まれ	さわ アいて	由でなった	フロナ畑ベ		が山ルルナ	こったこした	フロナ畑ベ			ったァレナ		
	4	分析	が、各地域				受け、情報	地域11 事 寺 発信する記	ルーエにた。 事がない#	いたことを 、況から発行	受け、情報	巡巡11 事 寺 発信する記	ルーエにな 事がない状	、フルーCを :況から発行		
			子どもの課題					協議会もあ				協議会もあ				
				アウ	トカム			アウト	プット			イン	プット			
				(活動					結果)				·動)			
		 @	子ども一人で	ハンりの「生	きろ力」が看	ぎまれスとと										
ロジ	ックモ	デル2	もに、地域を				取組の実施	短により、地域	或との交流	を持つ機会	各地域教育	育協議会を中	中心とした、	大人のネッ		
			進み、学校。			長を支える	が増える。				トワークを払	大大する取組	且を実施。			
			意識が醸成													
					カムかまり				·プット ・ は 思 \				プット ・新・)			
				(活動	刈未)			(結果)			(沽	動)			
	1- 1	=¥.pp	子どもの課題	頃を地域に	共有化した	中学校区数		協議会におり)ネットワー		トワークを拡		且を実施して		
	指标	票説明	,		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	クを拡大す	る取組件数			いる地域教	有協議会数	Z.			
指		The state of the			単位	校			単位	件			単位	校		
標		票種類	増加 R2	することが月		万指標 R5]することが]			増加 R2]することが]				
標設定	指標	日保		R3	R4		R2	R3	R4	R5		R3	R4	R5		
定②	偿 数	(見込	19	19	19	19	88	88	88	88	19	19	19	19		
(2)	値	実績	19	19			17	33			12	12				
	達	成度		10	0%			. 38	1 <u> </u>	1		6	1	1		
	~-		コロナ禍で活			中であった	コロナ処で	実施が難し		していたい						
	3	分析	が、各地域	教育協議会	ごとに工夫	を凝らし、	が、役員会	美旭か難し 等を実施す	、ロ ほに厓 るなど大人	ン 、、、、、、 のネットワー		と同様、実施	色できない は	也域教育協		
		子どもの課題					けた取組を		<u> </u>	議会もあっ	/C ₀					

				アウト (活動	·カム 効果)				・プット I結果)		インブット (活動)			
ロジ	; _{''}	クモデル③	もに、地域を 進み、学校	ひとりの「生: 社会においっ と連携してう されている。	て児童・生徒 子どもの成長	もの理解が しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しん	取組の実施 来る機会が		験活動等を行	テうことが出	各地域教育画する取組		中心とした、	子どもが参
				アウト (活動					・プット i結果)				プット :動)	
		指標説明	子どもの課	題を地域に		中学校区数	地域教育協取組件数		ける、子どもだ	が参画する	子どもが参議会数	画する取組		ハる地域協
指標		+15.1元(1 <u>年</u> .4元	124 40		単位	校	124 45	. Ly = 1 10	単位	件	134-6	- Ly = 1 1 1 1 1	単位	校
設		指標種類 旨	理加 R2	1することが良 R3	<u>R4</u>	指標 R5	理川 R2	することか! R3	良いとされる R4	指標 R5	增加 R2	1することが1 R3	えいとされる R4	指標 R5
定 ③		票 目標	19	19	19	19	47	47	47	47	19	19	19	19
•	-	直実績	19	19			12	21			7	9		
		達成度			0%			4	5%		47%			
		分析	が、各地域	活動が制限 教育協議会 題を地域で	ごとに工夫 共有化した。	を凝らし、		した地域教	実施したり、		全地域教育協議会で企画はしたが、実施できなかったところもあった。			
				アウト (活動			アウトブット (活動結果)						プット ·動)	
ロジ	;	クモデル④	子ども一人ひとりの「生きる力」が育まれるとともに、地域社会において児童・生徒の理解が進み、学校と連携して子どもの成長を支える意識が醸成されている。				取組の実施 来る機会が		検活動等を 行	テうことが出		育協議会を中保護者の参		
				アウト (活動					トプット]結果)				プット ·動)	
		指標説明	子どもの課題を地域に共有化した中学校区数						する、小学校 →る取組件数			学前の子ども ている地域		参加する取数
指標		指標種類	1	1することが良	単位	校	抽扣	1-ナスァしが1	単位	件	抽扣]することが]	単位	校
設		191宗性规 占	R2	19 ることが B	R4	7日1宗 R5	R2	R3	R4	7日1宗 R5	R2	R3	R4	用保 R5
定 ④		票 目標	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
•		直実績	19	19			2	9			2	6		
		達成度			0%		47%				32%			
		分析	が、各地域	活動が制限 教育協議会 題を地域で	ごとに工夫	を凝らし、	中学生と保育園児との交流を行った地域教育 協議会もあった。				工夫を凝らし実施した地域教育協議会があった。			
				アウト (活動			アウトプット (活動結果)						プット ·動)	
ロジ		クモデル⑤	もに、地域 進み、学校	ひとりの「生: 社会においっ と連携してう さされている。	て児童・生徒 子どもの成長	きの理解が	取組の実施により、体験活動等を行うことが出来る機会が増える。							
				アウト (活動					·プット]結果)				プット ·動)	
		指標説明	子どもの課	題を地域に	共有化した	中学校区数	地域教育協組件数	協議会におり	ける、体験活	動等の取	学校教育活 域教育協議	舌動を支援す 養会数	├る取組を実	ミ施する地
指		指標種類	154 中	1することが良	単位	校	154-4-1	1-ナファ 1.ユバ	単位良いとされる	件	1.探卡]することが]	単位	校
標設	ŧ	旨	R2	19 ることが B	R4	相保 R5	增加 R2	19 ることが R3	R4	相保 R5	阳2	19 ることが1 R3	えいとされる R4	相保 R5
定⑤	村	明には、日標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19	19	19	19	49	49	49	49	19	19	19	19
	ſi	直 実績	19	19	00/		14	37	201		9	17		
		達成度 分析	が、各地域		されている ^に ごとに工夫	を凝らし、	76% 職業講話、農園活動、LGBTや認知症の理 解講座等を実施した地域教育協議会があっ			89% 集合型イベントに比べ、開催する地域教育協議会が多かった。				
			が、各地域教育協議会ごとに工夫を凝らし、 子どもの課題を地域で共有化した。				た。				成な ユル・グル・ノに0			

					トカム 効果)				·プット 結果)		インプット (活動)				
ロジ	ックモ	デル⑥	もに、地域進み、学校	ひとりの「生 社会におい と連携して 「 されている。	て児童・生徒 子どもの成長	もの理解が しんしん こうしん こうしん こうしん しんしん しんしん しんしん しんしん	取組の実施長をさせるが増える。			子どもの成出来る機会	台 地 典 教 月	育協議会を中 ための工夫			
			アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)					イン: (活	プット 動)		
	指標説明		子どもの課	題を地域に	共有化した「	中学校区数	地域教育協 の取組件数		ける、地域パ		活動の安全を確保するための工夫に係る取 組を実施している地域教育協議会数				
指					単位	校			単位	件			単位	校	
標	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
設	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
定⑥	標数	日保 (見込み)	19	19	19	19	86	86	86	86	19	19	19	19	
٠	値実績		19	19			8	66			11	12			
	達	成度		10	00%			7	7%		63%				
	3	分析	コロナ禍で活動が制限されている中であったが、各地域教育協議会ごとに工夫を凝らし、 子どもの課題を地域で共有化した。				パトロールを実施している地域教育協議会は 工夫を凝らし、回数を重ねているものの、中止 した地域教育協議会も多かった。				パトロールを実施している地域教育協議会は 工夫を凝らし、回数を重ねているものの、中止 した地域教育協議会も多かった。				

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.37
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。 (チ円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	1,764	4,067	2,907		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
歳	件	特別職非常勤	1	0	0		
出	費	附属機関委員	1	0	0		
ш		人件費計	1,764	4,067	2,907		
	物件		3,800	3,717	3,800	3,800	100%
		歳出計	5,564	7,784	6,707		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
	府支		0	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0	
		一般財源	5,564	3,717	3,800	3,800	

5. 総括的分析

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合型イベントについては中止せざるを得ない地域教育協議会がほとんどで <mark>総括的分析</mark>あった。その中でも、工夫を凝らし、代替の事業を実施したところもある。引き続き、地域教育協議会においては、子どもの様々な体験活動の機会や 場を提供し、地域との交流を持つことで「子どもの生きるカ」と「地域カ」を育むための事業を推進するよう委託内容に盛り込む。

6.

今後の方向性 区分 ^現 現状維持

今後の 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、実施できる事業は取り組んでもらうなど、地域の実情に合った取組を進めてもらうよう 取組方針説明していく。

事系	务事	業実績	責測定調	書										
事	務事	業名称	多文化共生	三教育推進事	事業									
	測定	年度	202	21(R3)年度			部	<u>-</u>	学校教育部		課	児重	直生徒支援	課
市長	公約	との関係	所信表	明	市	i政運営方針	R2		R3		R4			
				基本目標	3.	一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	·育むまち		1			
総	合計	画体系		施策目標	16	子どもたちの)生きる力を	育む教育が	充実したま	ち				
_ _	= 7 <i>h</i>	±**~		行計画名										
1. 朞		事業の概		民サービス		特性		選択的	有事类		区分		. 加市公	r 市 坐
		<u>類</u> 期間	111.	<u> 1998(H</u>	10) 任 庄	村注	年度	建 扒印	り尹来		区河		一般事務	年度まで
		去令等	決裁	1330 (11	10) 千皮		十尺							十尺よく
		力金名称	17.190							サンセット			~	
		機関名称								72 671				
対示	11.1 1/14	1成因口1小	メインタ	ーゲット	人 佐	担当の教職員	3							
														
	事業	対象	サブターゲット 市内小中学校に通学する児童・生徒 ターゲットが抱える課 カロタ 同じ おおま 同じ 田田 おおま この用知された この用知された この用知された この 田田 おおまる											
			_	が抱んる味	在日外国	人教育·国際	理解教育へ	の理解を進	める必要が	ある。				
			ターゲットカ											
			_	頁										
		学												
		くき姿 昇決した状	在日外国人	、教育·国際	理解教育に	こついて、理解	解がある小り	中学校						
		f 人 し / こ1人 ()												
	± **	40T 7F5	学校園にお	おける在日外	国人教育	•国際理解教	育の推進を	図るため、杉	方市多文化	化共生教育研	研究会を通し	て、研究事	業(異文化	交流講演
•	争耒	概要	会、学習会	、機関紙発	行等)を実	施している。								
2. 🗆	ジ	クモデル	及び指標	設定										
					カム			アウト				イン		
				(活動	効果)			(活動	結果)			(活	動)	
	ジック	モデル		当教職員を				通じて、人材			在日外国人教育・国際理解教育の推進を			推進を目
			教育・国際: 校となってい		ついて、埋	!解がある学	仕日外国/ れる機会が	入教育・国際 3曲ラス	埋解教育に	関して肥		究事業を実力		,,,,
			父となってい				ないのななない	はしてる。						
				구스	カム			アウト	- °ı			イン	- °I	
				(活動				(活動				イン. (活	* *	
			三欧亚山和			₩		(144)	THOIC?			(74	<i>-43</i> 7	
	11	- 1==2 =0		女育に努めて 5計画に国際		奴 を掲載して	讃 演会等ℓ)参加教職員]の延べ人	**	講演会等の	開催同数		
	Ŧì	標説明	いる学校数		10-11-12(1)	214,470	III NA 1	> 70H DC 1943	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<i></i>	1110000	PHILE IN		
					単位	校			単位	Д			単位	口
指指標種類			することが]することが良		指標		することが	見いとされる		
標指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
設定	標	(見込	64	64	63	63	340	350	360	370	6	6	6	6
~_	数値	み)				1							-	
		実績	64	64	00/		225	319	0/		3	4	70/	
		達成度		10	U%			91	.%			67	1%	
			A				目標を達成しなかったが、令和3年度は講演				コロナ禍以前と同様レベルではないものの、			
		分析	全小中学校	で国際理角	解教育を進	めた。	会等も実施されるようになり、参加教職員数が				なが 主催者側も工夫し、開催する講演会が増えつ			
			1				令和2年度より増加した。				つある。			

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.26
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付		1,914	2,043		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)			0		
歳		特別職非常勤			0		
出	費	附属機関委員			0		
ш		人件費計		1,914	2,043		
	物件				113	216	52%
		歳出計		0	2,156		
		支出金		0	0	0	
	府支			0	0	0	
歳	受益:	者負担(使用料・手数料)		0	0	0	
入	市債			0	0	0	
	その			0	0	0	
		歳入計		0	0	0	
		一般財源		0	113	216	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年レベルではないものの開催される講演会等が多くなってきた。帰国・渡日児童生徒 学校生活サポート事業による多言語進路ガイダンスを枚方市で開催するなど、中心的な役割を果たした。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持

今後の 取組方針

今後も小中学校における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るために、異文化理解のための学習会や授業研究に取り組む。

事系	务事	業実績	責測定調	書										
事	務事	業名称	「心の教室村	目談員」配置	置事業									
	測定4	年度	202	1(R3)年度			部	Ä	学校教育部		課	児童		課
市長	公約。	との関係	所信表明	月	市	ī政運営方針	R2		R3		R4			
			基	本目標	3.	一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	育むまち					
総	合計画	画体系		施策目標		.子どもたちの				ち				
	= 76 =			行計画名	16	5-2.快適で安	心できる学	習環境づくり						
1. 事		事業の概		ミサービス		#± ##		\st.4n A	万事光		豆 八		加古型	4年米
	種類 事業類		ПЕ	• •	13)年度	特性	年度	迭 // 1	内事業		区分		一般事務	年度まで
	見拠法		枚方市立教			第3条(4)	一尺	<u> </u>					:	十尺よく
		金名称	区为 市 並収	. 17 / 11 - 17	2 2/2/27	7/10/10/1/				サンセット			~	
		幾関名称								72 271				
	P13 /124 1.	K X Y 1/1.	メインタ-	ーゲット	いじめやま	支人関係など	相談を更	よろ児 帝 及て	K 促					
			サブター			じめや友人関								
	事業常	対象	ターゲットカ											
			ラーアクトの		教員以外	に、定期的に	相談できる	機会がない。						
			ターゲットカ	<u>-</u> 「抱える課										
			題											
	めざす													
	あるべ	き妥 決した状	心の教室相	談員が市内	内全小学校	に週1回以上	:定期的に約	迷続して相談	{に応じるこ	とができる状	態。			
(本心	能													
	=	.or ===	• 市内全小学	学校に、「心	の教室相記	談員 を配置し	、児童•保	護者に対す	る教育相談	及び教職員	への助言を	行う。		
	事業権	以安	・相談員を、	児童数に帰	広じて、1校	につき年間3	7回派遣す	る 。			. , , , , ,			
2. 🗆	ジッ	クモデル	及び指標語	設定										
				アウ	トカム			アウト	プット			イン	プット	
				(活動	効果)			(活動	結果)			(活	動)	
□ :	ジック	モデル	心の教室相	談員が市内	内全小学校	に週1回以	心の教室村	談員の配置	置により、児	童•保護者				
			上定期的に	継続して相	談に応じる	ることができ		で有相談及び	「教職員への	の助言を行	心の教室権	目談員を配置	計る。	
			ている。				うことが出す	たる。						
					トカム 効果)			アウト (活動				イン	ブット 動)	
								(冶勁	和米)			()占	到)	
			児童1人あた 【算出式:相			日辛粉>	この数字は	目談員への相	口 沙 / / / 米/-		この数字は	目談員の年間	1派 中同 粉	
	指	標説明	【异山八:他 100】	伙什奴/王	小子仪	心里 数 ヘ	心の教主作	は対して	日於什奴		心の教主作	一談貝の平原	小水追凹数	
			100		単位	件			単位	件	_		単位	口
指	指	標種類	減少	することがE			減少	することが且			増加]することが[
標	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
設	標	(見込	0.62	0.62	0.62	0.62	13,000	13,000	13,000	13,000	1,620	1,620	1,620	1,620
定	数	<i>7</i> 4)	0.02		0.02	0.02	,	ŕ	13,000	13,000		, ,	1,020	1,020
	値	実績	0.66	0.72]	13,636	14,619			1,639	1,657		
	`₹	達成度		84	4%			88	3%			10	2%	
	견						l				1			
	견		+□ ⇒火 / t */ 1 4	C10/# ^	旧本粉00	109 1 今世	コローナロ)~	+21 \~~~	4年につい	マの担実	心の教室相	目談員の派遣	量の増加を要	要望した小
		分析	相談件数14 的に相談に			183人。 定期		おいて学校:				目談員の派遣 『遣回数を増		

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.57
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	561	2,871	4,478		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	600	169	1,058		
歳	件	特別職非常勤	1	0	0		
出	費	附属機関委員	1	0	0		
ш		人件費計	1,161	3,040	5,536		
	物件	費計	8,285	8,277	8,375	8,530	98%
		歳出計	9,446	11,317	13,911		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	4,130	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	4,130	4,123	0	0	
		一般財源	5,316	4,154	8,375	8,530	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>心の教室相談員への相談については、年間35回が基本であるが、10月に2回再配当し、さらに学校によって派遣回数の増加要望があるため、予算 内で対応している。心の教室相談員の連絡会を開催し、相談員間で情報共有ができた。

6. 今後の方向性 区分 現

現状維持

取組方針

学校側からの拡充の要望は例年高く、相談員の資質向上のための方策に取り組む。さらに、中学校に配置しているスクールカウンセラーとの連携のみならず他の専門家との連携を図っていくとともに、小中学校の生徒指導担当との連携を密にし、貧困やヤングケアラー等の悩み事があれば関係機関につなげるようにする。

事利	务事	業実績	責測定調	書										
		業名称	スクールア		派遣事業									
	測定	:年度	202	1(R3)年度	:		部	P	学校教育部		課	児i	童生徒支援	課
市長	公約	との関係	所信表	明	ī	市政運営方針	R2		R3		R4			
			į	基本目標	3	.一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	育むまち					
総	合計	·画体系		施策目標		6.子どもたちの				ち				
4 =	- 7k7 ·	- ** ~ 10		行計画名	1	6-2.快適で安	心できる学	習環境づくり						
1. 事		事業の概 類		民サービス		特性) de 40 4	内事業		区分		一般事務	4年来
		期間	1111	• •	 [12)年度	付江	年度	送 扒F	り尹未		巨刀		双争的	年度まで
		去令等	決裁	2000 (1	112) /2		十汉	i i					•	TRAC
		助金名称	D () , ()							サンセット			~	
		機関名称								7 7 .				
12-2 1214	1371-	100000	メインタ	ーゲット	学校園で	の緊急を要す	る事案に対	北て、心の/	アアを要する	5幼児•児童	生徒及び付	呆護者		
			サブタ-			の緊急を要す						1182 1		
;	事業	対象									*	#1 1 >= 1 -==	江田 旧本	L. /+ /*
			ターゲット <i>が</i> 			する課題につ 的な知見に基								
	めざす姿、 あるべき姿 題が解決したも 態)				19/ 41 1	H J/ S AH JUIC AS	J (1010)	/ A·又()・54	V'AV 0 A/C	、秋帆貝は、	41 1H1, Y1	→ かロル·	Z() :J4 0/4 V	0
	あるべき姿		ターゲットが											
ŧ	あるへ 「が角	^{ヾき} 姿 ^{双決した状}	緊急を要す	る課題につ	いて、専門	門的知見に基	づく迅速か	つ適切な対応	芯がなされ、	子ども等の	心理的負担	が軽減され	た状態。	
		概要	(2)スクール	レアドバイサ	ーの業務	:事件、事故等 派遣する者:臨	等緊急を要 ⁻ 床心理士等	する事例に対 等の専門的な	けしての派遣 知識・経験	を行ってい	る。 り中から、依	頼した者		
2. 🗆	ジッ	ックモデル	及び指標	設定										
					トカム かまり				·プット 結果)				プット 動)	
				(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,			(14-2	182147		\/H-#U/			
D)	ブック	7モデル	緊急を要す 基づく迅速 等の心理的	かつ適切な	対応がな	され、子ども		ドバイザーを 静緊急を要す が出来る。			臨床心理コ	上等の専門的 スクールア	的な知識・経 ドバイザーを	・験を有する ・依頼する。
					トカム				プット				プット	
	指	指 標説明	の中で、安	スクールア 心できた旨 でごきたと	の報告があ	派遣報告書 あった割合 報告数/派遣	スクールア	<u>(店</u> 朝 ドバイザー <i>0</i>	結果))派遣回数		スクールア		動) D派遣を要割	青した回数
+6	+E	と十亜 千毛 米石		rナファ12×	単位	% 7 HS H#F	.4-6	トルファ トルバ	単位	担	1, 44	、	単位	学校園
標		旨標種類	理加 R2	することが、 R3	良いとされ R4	る指標 R5	减少 R2	アナることが ER3	良いとされる R4	指標 R5	减少 R2	アすることかり R3	良いとされる R4	指標 R5
設定	指標	日保												
定	数	(兄込	100	100	100	100	30	16	16	16	12	16	16	16
	値	実績	100	100			18	17			9	6		
	:	達成度		10	00%			9.	4%			16	33%	
		分析	6校(1小学 遣要請があ			べ16回の派		生起した事案 対が令和2年				た学校数は	遣の依頼が 少ないが、》	

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.21
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	401	1,356	1,650		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	600	0	0		
歳	件	特別職非常勤	-	0	0		
出	費	附属機関委員	1	0	0		
ш		人件費計	1,001	1,356	1,650		
	物件	費計	213	200	255	240	106%
		歳出計	1,214	1,556	1,905		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0	
		一般財源	1,214	200	255	240	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>令和3年度は例年より緊急派遣の依頼が多かった。事故や事件に伴うものもあり、スクールアドバイザーの人的確保に苦慮したが、要請のあった学 校すべてに派遣することができた。緊急派遣の理由は年々厳しくなってきている。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持

今後の 今後も緊急事案発生時には、速やかにスクールアドバイザーを派遣し、問題の解決につなげていく。 取組方針

事系	务!	事業実績	責測定調	書										
事	務	事業名称	スクールカウ	ンセラ	一配置事業									
	測	定年度	202	1(R3)年	度		部	<u>-</u>	卢校教育部		課	児童	直生徒支援調	果
市長	公	約との関係	所信表明	月		市政運営方針	R2		R3		R4			
			基	基本目標	E	3.一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	·育むまち					
総	合	計画体系		拖策目標		16.子どもたちの		11 - 01111	, _ , ,	ち				
_ =	= 7/	7 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		行計画:	名	16-2.快適で安	心できる学	習環境づくり						
1. 朞		§事業の概 種類		えサーヒ	*フ	特性		選択的	4 車 坐		区分		一般事務	事 坐
		^{里短} 業期間	1111		<u>へ</u> (H13)年度		年度	地	り手来		ム 刀			年度まで
	•	法令等	決裁	2001	(1110) 5	<u> </u>	一人	i						TRAC
		助金名称	V 17/1							サンセット			~	
		属機関名称								7 7 -				
13-13 1010		-100000 -11	メインタ-	ーゲット	いじめ	や友人関係など	1 相談を要	する生徒及で	ド保護者					
			サブター							て助言を必	要とする教贈	北昌		
:	事	業対象												
			りゅう かられ)511 CV 3	//3、作談件多	以は十々 増え	とくいるため	、 J^ボリVノ
			ターゲットか 題		課									
đ	ある 夏が				ど相談体制	が充実し、それ	ぞれの内容	こに応じた相談	炎を受けるこ	ことができるキ	犬態。			
(詳超が解決した状態) 府事業のため、人員配置のみ。														
:	事	業概要	・生徒のカウ	ンセリン	グ等に関	する情報収集、打	是供。			び教職員を	対象とした教	女育相談を行	ゔ゙ゔ	
2. 🗆	ョジ	ックモデル	及び指標	設定										
					'ウトカム 5動効果)									
				(7)	1		提供。 ド等を高めるための支援を行う。							
D)	ジッ	クモデル				が充実し、それ けることができ	スクールス				中学校にス	ジクールカウン	/セラーを配	置する。
					'ウトカム 動効果)				2.2			• • • •	. •	
	:	指標説明	相談受付件式:相談対応	数に対 な件数/	して対応し相談受付係	た割合【算出 ‡数×100】	スクールカ	ロウンセラーに	よる相談対	応件数	スクールカ	ウンセラー酢	2置校数	
+15		+ヒ+亜 エチ- ユニニ	1,24,1	上フェリ	単位			トー・フェー バー	単位	件	1341.	1.トファン バー	単位	
指標		指標種類	増加 R2	<u>すること</u> R3	が良いとさ R4					7				
設定	抖榜	一 日保	100	100	100		(活動結果) 充実し、それることができ スクールカウンセラー配置により、生徒、保護者及び教職員の相談する機会が増える。 中学校にスクールカウンセラーを配置する。 アウトブット (活動結果) インブット (活動) 割合【算出 (×100】 スクールカウンセラーによる相談対応件数 スクールカウンセラー配置校数 単位 中位							
Æ	娄佢	(2 1)			100	, 100	ŕ	, i	10,000	10,000			10	10
	11	入順	100	100	1000		5,998	6,699	C0/		19	25	00/	
		達成度			100%			13	6%			13		
		分析	受け付けた た。	相談に	ついては、	すべて対応でき		ウンセラーの 句となった。	増員に伴い	\相談件数	中学校に力 6つの小学 することが	ロえ、大阪府 校にスクー <i>រ</i> できた。	に人員配置 レカウンセラ	を要求し、 一を設置

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	481	1,755	2,121		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	600	507	1,058		
歳	件	特別職非常勤	_	0	0		
出	費	附属機関委員	_	0	0		
ш		人件費計	1,081	2,262	3,179		
	物件		0	0	0	0	_
		歳出計	1,081	2,262	3,179		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0	
		一般財源	1,081	0	0	0	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>スクールカウンセラーの配置は、令和3年度からは、全中学校に加え、6小学校に配置することができた。スクールカウンセラーには、相談業務以外に教職員への研修、ケース会議への参加等に取り組むよう伝えている。今後も専門知識を生かした助言を求めていく。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持

今後の 取組方針

児童・生徒・保護者・教職員からの相談ニーズは高く、現状維持を図る。配置校の増加を大阪府に要望している。

-10.7		業名称	責測定調 教育相談事												
	測定年			21(R3)年度			部	<u> </u>	学校教育部		課	炉電	童生徒支援	======================================	
_		上の関係	所信表			政運営方針	R2		R3		R4)L1	基工化入版	иж -	
区	. 77. 业.J.C			基本目標		人ひとりの		典かな心な			Π4				
総合	合計画	画体系	1	施策目標 行計画名	16.	子どもたちの-2.快適で安)生きる力を	育む教育が	充実したま	5					
事		業の概	要		10		2 (03)						/2. 1.=/	t. Lastie	
7	種类		市	民サービス	21) 左 庄	特性	左由	選択的	り事業		区分		一般事務		
	事業其		決裁	1986 (56	61)年度		年度	~						年度まで	
		金名称	17(3)%							サンセット			~		
		機関名称)					
			メインタ	ーゲット	いじめや人	間関係など	相談を要す	る児童・生徒	及び保護	<u></u>					
7	事業対	H 在	サブタ-	ーゲット	メンタル相	談を要する耄	対職員。 いじ	めや人間関	係など相談	を要する児	童・生徒に関	引わる教職員	l		
=	尹未入	小 多	ターゲット	が抱える課	いいみあし	間関係をは	ドム 学坛/	上洋1ヶ間わ2	出数がつき	にて燃 △ぶ小	731.1				
				<u>頃</u>	VICAJICA	. 同労(ボセ)よ	しめ、子仅ご	土伯(に関4)。)作成が (で	が成式が少	。				
				が抱える課 頃											
あ	かざす あるべ が解: 態)	き姿決した状	課題が解決	やし、安心し	て安全に学	校生活を送る	ることができ	る状態。							
4	事業概	既要	・幼児・児童 【継続教育・幼児・児童 【メンタルへ	重・生徒やそ相談】重・生徒やそいス相談】	の保護者等の保護者等	専用ホットラン に対する電 に対する面 談を行う。(!	話による教育	育相談を行う	。(平日 月		時から午後5	時まで)			
	ジック	クモデル	及び指標	* * *							インプット				
					トカム 効果)			アウト (活動	プット 結果)						
コシ	ブック -	モデル	課題が解決ることが出来	たし、安心し 来ている。	て安全に学		童・生徒や	顔守るコー/ その保護者 [:] 会が増える。			(活動) 子どもの笑顔守るコールを実施。				
					トカム 効果)			アウト (活動					プット ·動)		
	指相	標説明	適切に引き	継いだ件数	引き継いだ件数/相談件数 サともの美願寸るコール相談件数						子どもの笑顔守るコール活動日数				
. -	+54	標種類	抽扣]することが]	単位	% 把揮	/4/1	することが良	単位	件	+畄十	I-ナスァ しぶ F	単位 えいとされる	担捕	
F	指	示性块	R2	R3	R4	1日1示 R5	R2	R3	R4	1日1宗 R5	R2	R3	R4	1日1示 R5	
	標数	日保 (見込み)	100	100	100	100	400	400	400	400	243	242	243	243	
	値	実績	100	100			419	386			243	241			
I	達	成度		10	00%			10	4%			10	0%		
	-	分析	適切に相談							業務日は相談員を配置し開設している。					
)M 9/(C 111)	炎内容を引き	:継ぐことが^	できた。	令和2年度 想定通り受	から若干減かけている。	少したものの	の、相談は	業務日は相	談員を配置	置し開設して	v .の。	
1) 531C I I I	アウ	*継ぐことが [*] カム <mark>効果)</mark>	できた。			プット)、相談は	業務日は相	イン	置し開設して プット 動)	v "J"	
<u> </u> ヅ		デル②		アウ! (活動 P.し、安心し	トカム 効果)		想定通り受 継続教育相 やその保護	けている。 アウ ト	プット 結果) こより、幼児・ ほによる教育	·児童·生徒		イン	プット	V 'S.	
<u> </u>			課題が解決	アウ! (活動 そし、安心し 来でいる。 アウ!	トカム 効果)		想定通り受 継続教育相 やその保護	けている。	プット 結果) こより、幼児 による教育 さる。 プット	·児童·生徒		イン (活 目談を実施。	プット	V 120	
	ックモ		課題が解決 ることが出す 第三者のも 適切に引き	アウ! (活動 そし、安心し 来でいる。 アウ!	トカム 効果) て安全に学 トカム 効果) 、学校園に で 、学校園に で といだ件数/	校生活を送相談内容を	想定通り受 継続教育相 やその保護	けている。 アウト (活動 田談の実施に 養者等が面談 る機会が増え アウト (活動	プット 結果) こより、幼児 による教育 こる。 プット 結果)	児童・生徒相談を行う		イン (活 計談を実施。 イン (活	プット 動) ブット 動)		
	ックモ	÷デル②	課題が解決ることが出することが出することが出することが出する。 第三者の得言はは式:道 (算出式:道 ×100)	アウ! (活動 せし、安心し 来ている。 アウ! (活動 記点を踏まえ 継いだ件数	トカム 効果) て安全に学 ・カム 効果) 、 、 で 様いだ件数/	校生活を送 相談内容を /相談件数 %	想定通り受継続教育材 そその保設 ことが出来 継続教育材	けている。 アウト (活動 田談の実施に 養者等が面談 る機会が増え アウト (活動	プット 結果) こより、幼児こ にによる教育 こる。 プット 結果)	・児童・生徒相談を行う	継続教育相継続教育相	イン (活 目談を実施。 イン (活 目談活動日	プット 動) ブット 動)		
 - -	ックモ 指 指 指 指	漂説明	課題が解決ることが出することが出することが出することが出する。 第三者の得言はは式:道 (算出式:道 ×100)	アウI (活動	トカム 効果) て安全に学 ・カム 効果) 、 、 で 様いだ件数/	校生活を送 相談内容を /相談件数 %	想定通り受継続教育材 そその保設 ことが出来 継続教育材	けている。	プット 結果) こより、幼児こ にによる教育 こる。 プット 結果)	・児童・生徒相談を行う	継続教育相継続教育相	イン (活 目談を実施。 イン (活 目談活動日	プット 動) ブット 動)	指標	
	ックモ	デル②	課題が解決ることが出来 第三者の待き 適切に引き 【算出式: 道 ×100】	アウ! (活動 やし、安心し、 来ている。 アウ! (活動まえ 継いだ件数 値切に引き絶	トカム 効果) て安全に学 ・カム 効果) 、学校園に に といとされる	校生活を送 相談内容を / 相談件数 場標	想定通り受継続教育材料をその保護ことが出来 継続教育材	けている。 アウト (活動 目談の実施に 養者等が面割る機会が増え アウト (活動 日談件数	プット 結果) こより、幼児こ にによる教育 さる。 ブット 結果) 単位 さいとされる	・児童・生徒相談を行う	継続教育相継続教育相増加増加	イン (活 目談を実施。 イン (活 目談活動日参	プット 動) ブット 動) 女 単位 といとされる		

75%

ここ数年、発達の課題等に不安を抱える保護 者が多く年々増加している。 100%

業務日は相談員を配置し、開設している。

100%

適切に相談内容を引き継ぐことができた。

達成度

分析

					♪ カム 効果)				·ブット 結果)		インプット (活動)			
ロジ	ックモ	デル③	課題が解決ることが出来		て安全に学	交生活を送	メンタルへ <i>ハ</i> ルス相談			がメンタル	メンタルヘルス相談を実施。			
					♪ カム 効果)				・プット 結果)			• • •	ブット ·動)	
指	指	票説明	第三者の視点を踏まえ、学校園に相談内容を 適切に引き継いだ件数 【算出式:適切に引き継いだ件数/相談件数 ×100】 単位 %				メンタルヘルス相談件数単位 件				メンタルヘルス相談活動回数 単位 日			
標	指	票種類	増加することが良いとされる指標			減少することが良いとされる指標			増加することが良いとされる指標					
設	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定 3	標数	目標 (見込	100	100	100	100	50	50	50	50	97	95	97	93
9	値	実績	100	100			0	0			96	87		
	達	成度		10	00%				00%		92%			
	3	分析	適切に相談	炎内容を引き	*継ぐことがで	·····································	相談件数は0件であった。令和4年度から相談 員の執務内容を拡大し、教育相談も含む職種 とする。				く教育文化センター内での開設日が減少した が、相談日にスクールアドバイザーとして派遣 していたため全体的には勤務日数の減少は ない。			

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.85
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	11,144	5,822	6,678		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	7,570	6,863	6,788		
歳	件	特別職非常勤	-	0	0		
出	費	附属機関委員	-	0	0		
ш		人件費計	18,714	12,685	13,466		
	物件	費計	2,699	2,788	2,635	3,071	86%
		歳出計	21,413	15,302	16,101		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	2,830	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	2,830	0	0	0	
		一般財源	18,583	2,617	2,635	3,071	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>継続教育相談と子どもの笑顔を守るコールについては、多少の増減があるものの想定通りである。メンタルヘルス相談については開設しているもの の、0件であるため、令和4年度から相談員の執務内容を拡大し、教育相談も含む職種に改定した。

6. 今後の方向性 区分 ^現

今後の 令和4年度から「教育メンタル相談員」と職種を改め、教職員向けのメンタルヘルスだけでなく、保護者への教育相談も受け持つことにした。そのこと 取組方針 により、令和4年度も教育相談体制の充実を図る。

事系	冬 国	工業宝 網	責測定調書											
		業名称	不登校児童·生徒支援	事業										
	測定	至年度	2021(R3)年度			部	ř	学校教育部		課	児i	童生徒支援	課	
市長	公糸	内との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
			基本目標		3.一人ひとりの	成長を支え	こ、豊かな心を	育むまち						
総	合計	†画体系	施策目標			の生きる力を育む教育が充実したまち								
			実行計画名		16-2.快適でタ	安心できる?	心できる学習環境づくり							
1. 事		事業の概			44.14	733 LD LL +t- W6						4n		
		種類	市民サービス		特性	左连	選択的	り事業		区分		一般事務		
		美期間 法令等	学数数本の印度におけて	() 不 44 - 大 / マ -	ロルナフサネの地	年度 ~ 機会の確保等に関する法律、不登校児童生徒への支援の右				ケルナルへいて	· (Δ ± = . E 1 0	B OE B 소설된	年度まで	
		太市寺 助金名称	表務教育の段階にわける首	『囲教目に1	11日9の教育の機	云の唯休寺(二対 9 る伝律、1		サンセット	主り力 について	(市和兀平10	月20日又部件	子自人、伏救	
12-73 10-1	14 1110	· — — :							リンセット			~		
対 徐	附周	属機関名称	112 5 5 1	7 26 14	ト光ルナフ旧立	· 4-4:								
			メインターゲット		犬態にある児童		lo +	/-L						
;	事業	美対象	サブターゲット	土に心は	里的要因で不登	全校状態に	める児里・生							
			ターゲットが抱える課 題	不登校	児童・生徒が自	らの進路を	:主体的に捉:	え、社会的に	こ自立する。	必要がある。				
ŧ	ある。	す姿、 べき姿 解決した状 態)	不登校傾向にある児童 進路を主体的に捉え、				た適切な支援	を行い、不	登校の未然	防止が図ら	れるとともに	、児童・生徒	が自らの	
事業概要			・不登校支援協力員を・枚方市不登校支援協力。 ・ 地方市不登校支援協・適応指導教室「ルポ」 ・ 適応指導教室「ルポ」 う。 ・ 馬とのふれあい体験・	5力員連終 入室児童 訪問指導	各会の開催、小 ・生徒…学習? ・字生指導員	中学校間の活動・体験 及び担当	か情報交流。 活動・創作活 する指導主事	動等、児童	・生徒が自身	の進路を主	生体的に捉え	、社会的に		
								- / - 4/4 = 14 /						
2. 🗆	リン	ックモテル	及び指標設定											
				トカム 対象果)				プット				プット		
D 3	ロジックモデル		不登校傾向にある児童 背景に応じた適切なき 然防止が図られるとと 徒への支援指導により る。	小豆仪文	(活動 援協力員によ 活動を実施。	り、不登校の	の事案に対	公立全中等を配置する	学校において	動) て、不登校支	接協力員			
				トカム 効果)				·プット 結果)				プット i動)		
	抖	旨標説明	不登校児童・生徒の害 【算出式:不登校児童 ×100】※小学校、中学	生徒/st 学校の順		不登校支	援協力員の延			不登校状態にある生徒		欠席が年間	30日以上)	
指	ŧ	旨標種類	減少することが	単位	% ス投煙	油	小士ストレが自	単位	日 投 海	減力	オスァレがリ	単位 良いとされる	人 华趰	
押標	指		R2 R3	R4	いか R5	減少することが良いとされる指標 R2 R3 R4 R5			R2	R3	R4	用保 R5		
標設	押標	日保												
定	数		0.62、4.0 0.62、4.0	0.61	4 0.61 4	1,710	1,710	1,710	1,710	400	395	390	385	
	値	実績	1.04、4.75 1.39、5.79			1,674.50	1,747			482	591			
		達成度	· '				98	3%			5	0%	•	
		分析				不登校支援協力員は合計9,882時間活動。1 回6時間で換算し、1,747回。ほぼ予定通りで あった。				コロナ禍による登校不安も増え、令和2年度から増加した。				
				トカム 対効果)				·プット 結里)				プット :動)		
ロジ	ロジックモデル②		不登校傾向にある児童 背景に応じた適切な支 然防止が図られるととは 徒への支援指導により る。	€・生徒に 接を行い っに、不登	、不登校の未校・児童・生	(活動結果) 不登校支援協力員により、不登校の事案に対して、支援活動を実施。				(活動) ・ 一部の小学校において、不登校支援協力員 を配置する。				
			アウ	トカム 対果)				·プット 結果)				プット i動)		
110	指標説明		不登校児童・生徒の害 【算出式:不登校児童 ×100】※小学校、中等	生徒/金校の順		不登校支	援協力員の延			不登校状態(不登校の欠席が年間30日以上) にある児童数				
指標	‡	旨標種類	減少することが	単位良いとされ		減	少することが且	単位 臭いとされる		減小	することが1	単位 臭いとされる	人 指標	
設	指	}	R2 R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
設定	標	(見込	0.62、4.0 0.62、4.0	0.61	4 0.61 4	490	490	490	490	130	125	120	115	
2	数	ユリ				E00	450.50			010				
	値		1.04、4.75 1.39、5.79			522	450.50	20/		216	280	10/	j	
		達成度						2%		24%				
		分析	不登校児童は280人/ 校は591人/全生徒10 達成できていない。	全児童2),205人	0,183人、中学 であり、目標は	不登校支 回6時間で あった。	援協力員は台 で換算し、450.	3計2,703時 .5回。 ほぼれ	間活動。1 思定通りで	コロナ禍による登校不安も増え、令和2年度から増加した。				

				> カム 効果)				·ブット 結果)		インブット (活動)				
ロジ	゙ックモデル③	背景に応じ 然防止が図	可にある児童 た適切な支 図られるととも 受指導により	援を行い、	不登校の未 ・児童・生	の在り方や することによ	自己決定の	「業を通じて 方法を学ぶ ている児童・ さる。	場を提供	主に心理的な面で不登校状態にある児童・生徒に対し、人間関係の在り方や事故決定の方法を学ぶ場として適応指導教室「ルポ」を提供する。				
	アウトカム (活動効果)							·プット 結果)			イン ⁷ (活	プット 動)		
+15	指標説明	【算出式:7	【鼻田式: 不登校児軍・生徒/ 至児軍・生徒数×100】※小学校、中学校の順				ルポへの入室基準を満たし、登室を承認された児童・生徒が登室した割合 【算出式:ルポへの登室児童・生徒数/入室承認児童・生徒数×100】				適応指導教室「ルポ」への入室承認児童・生 徒数			
指標	指標種類	油川	っすることが』	単位	%	+畄力口	ナステレが	単位 臭いとされる	%	+台力r	することが	単位	任 华煙	
設	指	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	1月1宗 R 5	R2	R3	R4	1月1宗 R5	
定 3	標目標数(見込	0.62、4.0	0.62, 4.0	0.61 4	0.61 4	100	100	100	100	45	45	45	46	
	値 実績 1.04、4.75 1.39、5.79				100	100			36	31				
	達成度					100%					13	1%		
	不登校児童は280人/全児童20,183人、中学								令和2年度は36人であり、微減となった。					

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	1.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	3.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	4,169	4,626	11,786		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	600	0	10,110		
歳	件	特別職非常勤	-	0	0		
出	費	附属機関委員	1	0	0		
ш		人件費計	4,769	4,626	21,896		
	物件	費計	12,178	12,770	14,666	15,997	92%
		歳出計	16,947	17,396	36,562		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	6,077	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	6,077	6,373	0	0	
		一般財源	10,870	6,397	14,666	15,997	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>不登校児童・生徒に対しては、個々の状況に応じて対応しているものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、登校不安がある児童生徒も 増加し、結果として増加した。

6. 今後の方向性 区分 現

現状維持

今後の 今後も小中学校に配置している不登校支援協力員により校内での学校の居場所を確保するほか、学校に来れない児童生徒に対しては適応指導教 取組方針 室「ルポ」に登録し、ルポでの活動を通し、社会的自立のための支援と指導を進める。

事務	宇 木 ス	₹績測定訓	国主												
浿	8事業名称														
	別定年度		21(R3)年度			部	Σ	学校教育部		課	児童	首生徒支援	課		
中民工	公約との関		. ,		政運営方針		-	R3		R4	76=	区工人人区	H/K		
	1 1 1 C 0 7 (X)		基本目標				、豊かな心を			144					
総合	計画体系	:	施策目標	16.	.子どもたちの	り生きる力を育む教育が充実したまち									
1 車	務事業の		実行計画名	16-	-2.快適で安	心できる学	習環境づくり								
1. T	種類		5民サービス		特性		選択自	り事業		区分		一般事務			
	業期間		•	[26]年度		年度	~			年度まで					
	拠法令等		上対策推進法	· 第14条3 ¹	頃及び第28	条第1項、い	じめ防止対策	策推進法(<u>-</u>		聿第71号)第 ┰	引条				
	補助金名和	か なお なお なお なお なお なお なお なお なお ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	大いいみかな	*完業人					サンセット			~			
	1)偶倣闰石		ターゲット		園の幼稚園り	日 旧帝 化	4								
_	- 1111 1 1 2		<u>/ </u>	加亚子区图	型マンジが世国リ	1、儿里、工	T/C						-		
事	¥ 業対象		ターゲットが抱える課 いじめの未然防止と認知したいじめの早期解決												
		;	ターゲットが抱える課												
			·が抱える課 題												
め	ざす姿、	-	<u> </u>	4											
あ	るべき姿	安心できる	5学校園生活												
(課題	が解決した 態)	状	/	1											
	/EX /														
			の関係部課。 学校いじめ対								E例会を開催	きする。			
事	事業概要	3. 「ストップ	プ!いじめ」を	を配付し、枚	で方市立小・	中学校の新	入生の保護	者を対象に	、いじめ問題	. テる。 夏に対する啓	発を行う。				
		4. 枚方市	いじめ防止基	基本方針(櫻	既要版)の作	成•配付。									
2. 口:	ジックモラ	デル及び指標	誤定												
				トカム			アウト				イン				
			(活動	効果)			(活動	結果)			(活	動)			
ロジックモデル			5学校園生活	<u> </u>			じめに対し、	適切な対応	い上、解	由学校にも	3けるいじめ	を認知する			
		<i>У</i> -11 (С.	/丁区图工III	J		消できる。				TAKICA	317.21 007	で MD VH 1 . つ(3		
				トカムカ効果)			アウト (活動				イン (活	プット 動)			
П							(/口到	心 不			\/□	到/			
	指標説明	認知したい	いじめに対す 解消件数/認	る解消率	001	認知したい	じめの対応	件数		中学校にお	sけるいじめ	認知件数			
	1日1示武サ	】 【异山八·广	并付计数/ 贮	が旧古奴へ1	00]										
指	指標種類	抽動力	加することが [単位	% 性搏	+ 拍 力r]することが且	単位	件 - 性	11	することが良	単位	件		
標	指	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
設	標 片は		100	100	100	190	190	190	190	190	190	190	190		
	数値実統)	98.20	 		271	305			271	305		+		
-	達成度	20.43		<u>1</u> 8%		2/1	16	1%		211	l	9%			
	21902			0.10			10	170		39%					
	分析		5件中292件だ 1,294件が解		学校では	各学校にま すべて対応	いて、認知	された件数	については	いじめの認知については、周知・指導・助言することで各学校において小さな事象からい					
		1,3101千中	1,2941十八4月	行行。		9 1 (X)	NU/C ₀			じめが認知され、件数が増加した。					
				トカム			アウト			インプット					
ロジッ	クモデル	2)	(活動	効果)			(活動		l - 1 / / / / /	(活動)					
		安心できる	6学校園生活	î		認知したい 消できる。	じめに対し、	適切な対応	いの上、解	小学校にお	3けるいじめ	を認知する	0		
			アウ	トカム			アウト	プット			イン	プット			
_				効果)			(活動				(活				
		認知を	じめに対す	ス解消率											
	指標説明		解消件数/認		00]	認知したい	じめの対応	件数		小学校にお	sけるいじめ	認知件数			
				出任	1 0/			出任	/H-	_	1	出点	(H-		
	指標種類		加することが [単位 良いとされる]することが且	単位 臭いとされる		減少	ゝすることが且	単位 臭いとされる	件 指標		
指	指	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
指 _ 標	標(見記	<u>入</u> 100	100	100	100	675	675	675	675	675	675	675	675		
標設	2√0 → \		98.20			658	1,310		†	658	1,310		1		
標設定	数 実統	責 98.49		4	1					+					
標設定		貝 98.49	9	18%		194%				6%					
標設定	値 実統	98.49	9	8%			19	4%		1. P4++-~=			Jan 28 1 1 29		
標設定	達成度				芝校で け	各学校にお			については		恩知件数が大	に幅に増加し			
標設定	値 実統	中学校305	9 5件中292件だ 1,294件が解	が解消。小学	学校では	各学校にお すべて対応	らいて、認知		については	めの認知に とで各学校		に幅に増加し 周知・指導・ さな事象か	助言するご		

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	2.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	12,507	20,336	19,643		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,977	1,014	0		
歳	件	特別職非常勤	-	0	0		
出	費	附属機関委員	-	162	200		
ш		人件費計	14,484	21,512	19,843		
	物件	費計	1,472	273	4	182	2%
		歳出計	15,956	21,785	19,847		
	国庫	支出金	460	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	460	0	0	0	
		一般財源	15,496	273	4	182	

5. 総括的分析

令和4年3月末現在のいじめの認知件数は、小学校1,310件、中学校305件となっている。解消件数は、小学校1,294件、中学校292件であり、解消率 は98.20%である(1,586件/1,615件)。いじめの認知件数が多い学校については、子どもたちの様子をよく捉えていると肯定的に評価される。いじめを 総括的分析 初期段階のものも含めて積極的に認知し、相手が嫌と思えば1件に数えるなど小さな事案から丁寧に対応する視点で学校からの報告を求めたため、令和2年度と比較し、小学校では大幅に増加した。冊子「ストップ!いじめ」は令和3年度から貸与しているタブレット端末へのデータ配信となっ

6. 今後の方向性

区分 現状維持

今後もいじめの未然防止に向け、各学校で対応することが課題であり、教職員向けの研修を引き続き実施するとともに、児童・生徒向けの啓発を継 今後の 取組方針 続して行い、認知したいじめ案件の解消率100%をめざす。

	がサン	業名称	進路指導等	等事務										
	測定年	年度	202	21(R3)年度			部	À	学校教育部		課	児:	童生徒支援	課
市長	公約。	との関係	所信表	明	市	政運営方針	R2		R3		R4			
60	A - I -			基本目標		一人ひとりの				,			•	
総	台計四	画体系		施策目標 『行計画名	16	.子どもたちの	り生きる刀を	育む教育が	允美したま	5				
1. 事	事務 事	事業の概												
	種類		市	民サービス		特性			内事業		区分		一般事	
	事業 見拠法		決裁	2005 (H	17)年度		年度	~						年度まで
		· □ ਚ]金名称	1/13%							サンセット			~	
		機関名称							<u> </u>					
				ーゲット	市立小中华	学校の児童・	生徒							
	事業常	対象		ーゲット										
			_	が抱える課 頃	進路の選	択								
				だ が抱える課										
	<u> </u>	- `^77	Б											
đ	かざす あるべ 動が解 態	き姿 決した状	進路相談や	やキャリア教育	育により、将	子来に展望を	持つことがつ	できる。						
	事業権		法人枚方/ ◆教育活動	(権まちづく	り協会に委 て学ぶこと	な理由により 託し、奨学金の意義や働・	等に関する	が相談や情報	提供を実施	色する。				
2. 🗆	1ジッ	クモデル	及び指標	設定										
					カム				プット			• •	プット	
				(沽動	効果)			(活動	結果)		(活動) 			
ロジックモデル		進路相談や持つことが		育により、将	子来に展望を	各種相談等	等に対し、適	切に対応す	⁻ る。	進学意欲を 進学が困難 対して各種	な支援を要			
ſ					トカム 効果)				·プット 結果)				プット :動)	
	指	標説明	合【算出式	8について考 :自分の進路 /全児童生	各について	生徒数の割 考えた児 】	作談に刈り	ける対応率 対応件数/相	談件数×1	00]	相談件数			
指	指:	標種類	抽力]することが且	単位	%	+畄力	ロすることが月	単位	% 指標	抽力	1オスァレが	単位 良いとされる	上
標	指	木作主大只	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	71日1宗 R5	R2	R3	R4	71日1宗 R5
設定	標	日標(見込	100	100	100	100	100	100	100	100	34	35	36	37
疋	数値	ZL)			100	100			100	100			00	01
		実績 実績	100	100	0%		100	100	0%		30	31	<u>l</u> 9%	
		分析	ケートの満	から指標変	更(以前は にあった進	路指導を行	人権まちづくり協会に委託している進路選択 の相談事業については、100%対応した。				令和2年度と同様の相談件数であった。			
					トカム 効果)		アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジ	ックモ	デル②	進路相談や持つことが		育により、将	子来に展望を	小中学生にする。	こキャリア・バ	スポートの	作成を指導				
					カム				プット				プット	
			4. 0		効果)	II ALAR		(活動	結果)			(汪	動)	
	指	標説明	合【算出式	路について考:自分の進路 /全児童生	格について 徒数×100	l	キャリア・バ	パスポートの作			キャリア教育	育を実施した		- + *
指	指	標種類	増加]することが且	単位 臭いとされる	% %	増力	ロすることが 月	<mark>単位</mark> 臭いとされる	┃ 校 指標	増加]することが。	<mark>単位</mark> 良いとされる	<u>校</u> 指標
標鉛	指	日保	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
設定	標数	(見込	100	100	100	100	-	64	63	63		64	63	63
2	値	実績	100	100			_	64			-	64		
	适	E成度		10	0%			10	0%	•		10	00%	•
_			A 5-0 F F	から指標変	= /1012401	Lu ak ak			学年に応じたキャリア教育を実施した。					

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.37
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	5,772	3,110	2,907		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
歳		特別職非常勤	1	0	0		
出	費	附属機関委員	_	0	0		
ш		人件費計	5,772	3,110	2,907		
	物件		2,743	2,801	2,802	2,801	100%
		歳出計	8,515	5,911	5,709		
		支出金	0	0	0	0	
	府支		723	0	657	750	
歳		者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	723	745	657	750	
		一般財源	7,792	2,056	2,145	2,051	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark> 令和3年度については、奨学金制度の説明会は集合式ではなく、動画配信により実施することで、生徒・保護者への周知を図った。キャリア教育については、キャリア・パスポートを活用し、全小中学校で実施した。

6. 今後の方向性 区分 現

現状維持

今後の 今後も生徒・保護者に対して、進路に関する適切な情報提供を行うとともに、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的進路を選択決取組方針 定する態度や意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。

車系	事業実 終	吉測定調	書										
	りず 本 人 小 条事業名称	支援教育的											
	則定年度		21(R3)年度	:		部	,	学校教育部		課	炉電	童生徒支援	
	公約との関係	所信表			政運営方針			R3		R4	765	基工化入版	н.
י אַ יווי	公司とのぼぼ		基本目標		<u> 以連呂カ町</u> 一人ひとりの		典かな心			Π4			
総合	合計画体系		<u>坐坐口保</u> 施策目標		子どもたち				. .				
			三行計画名										
1. 事	務事業の概												
-	種類	市	民サービス	17)年度	特性			的事業		区分		一般事務	
	事業期間 拠法令等	決裁	2005 (H	11)年度		年度	~						年度まで
	補助金名称	1/13%							サンセット			~	
10 10 10 10	付属機関名称								72 271				
×1 1/1 1		メインタ	ーゲット	隨害児、医	療的ケアを	必要とするり	見童						
-	5 ** 4 &		 ーゲット	17 D 70 C		220,00							
Ą	事業対象		が抱える課	Ti -405 F 1	たの書楽明	./. \/. \	п»».	·加·加·1.1.7	LIK A 1× I A		L.		
		平成27年度の事業開始当初は、個に応じた支援を受ける機会が十分ではなかった。											
あ	oざす姿、 るべき姿 が解決した状 態)	支援教育0	の充実が図ら	られ、個々の	状況に応じ	た支援を受	けることがで	きる状態。					
Į.	事業概要	・職員が、き ・枚方市立 ・肢体不看 ・学校本不 ・ きを行う。	由児介助員師を配置し、	育所(園)、幼 支援教育指 を配置し、 、医療的ケン まに対し理事)稚園、医療 推園、医療 推選の中心と 小中学校の アを必要とす 学療法士に。	機関等を巡なる支援教技体不自由な児童及びよる専門的な	回し、就学村 育コーディラ 学級に在籍 生徒の枚方 と機能回復記	目談を実施で マーターの活 する児童・4 市立学校園 川練を実施で	する。 舌動時間を き徒の生活、 園における日 する。 併せ [・]	え援するため 訓練、学習 常生活を支	に、非常勤i 等の介助を	行う。	
. п	ジックモデル	ン及び指標		トカム			구스	プット			/ >	プット	
				rルム 効果)				結果)				フット ·動)	
ロジ	ⁱ ックモデル	支援教育の充実が図られ、個々の状況に応じ た支援を受けることができている。					ќ遣により、忿 指導・助言を			通常の学績 生徒への対する。	吸に在籍する 支援のため、	発達障害等 学校に専門	等の児童・ 家を派遣
		アウトカム (活動効果)						・プット !結果)				ブット ·動)	
	指標説明	支援教育に 【算出式: オ	要と認められ こ係る満足度 支援をしてい る児童・生徒	ぎ る児童・生行		専門家による指導・助言回数				小中学校への専門家派遣校数			
指	指標種類	増加	『することが』			増加することが良いとされ				増加	ロすることが』		
標	指	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
設定	標(見込	100	100	100	100	20	20	20	20	4	4	4	4
~	数 み)	100	100			20	20			4	4		
L	<u> </u>	100		<u> </u> 		20		100/		4		00/	
	分析	児童・生徒	が必要とする		っている。	100% 4校に5回ずつ専門家を派遣することができ、 指導や助言を受け、教職員の支援教育の知 職向上につながった。				100% 磯島小学校、氷室小学校、中宮中学校、東香 里中学校に派遣することができた。			
			アウ	トカム			アウト	プット			イン	プット	
			(活動]効果)			(活動]結果)				動)	
ロジ	ックモデル②		り充実が図ら をけることがで		状況に応じ		等の巡回に』 、要とする児			職員が、就 (園)、幼稚	学支援のた 園、医療機関	め、学校園 関等を巡回。	、保育所
				トカム				プット				プット	
Г		支接が立 用	(活動 要と認められ	<mark>効果)</mark> た児童・生	生に対する		(活動	結果)			(活	動)	
	指標説明	支援教育に【算出式: オ	と認められ こ係る満足度 支援をしている児童・生徒	ぎ る児童・生行		就学相談者	省数	単位	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	就学相談0	⊅訪問園等∉)数	箇所
指一	指標種類	増加	ロすることが [増加	ロすることが.		人 5指標	増加	ロすることが [
標 設	指	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定 ②	標 (見込数 21)	100	100	100	100	360	360	360	360	77	77	77	77
	値 実績	100	100	200/		336	314	70/	<u> </u>	80	82	C0/	<u> </u>
	達成度		10	00%			8	7%			10	06%	

想定していた相談者数から減少したが、保護 者の就学相談を通して、令和4年度の学びの 場を決定した。

児童・生徒が必要とする支援を行っている。

分析

				アウ ^ト (活動	カム 効果)				・プット				ブット ·動)		
ロジ	シッ	クモデル③)充実が図ら けることがて	れ、個々の	状況に応じ	ネーターの活動時間が増加し、支援教育が推				枚方市立小中学校の支援教育推進の中心と なる支援教育コーディネーターの活動時間を 支援するために、非常勤講師を加配する。				
				アウI (活動	カム		アウトブット (活動結果)						ブット		
指		指標説明	支援教育は【算出式:す	をと認められ に係る満足度 を援をしてい る児童・生徒	た児童・生徒 こ る児童・生徒 を数×100】		支援教育口 時間数	时间数				(活動) 支援教育コーディネーター配置校数			
標設		指標種類	抽加]することが且	単位	%	+畄力r	ナステレボ	単位 良いとされる	時間 歩煙	+畄力	することが	単位	校	
定		指	R2	R3	R4	_{日保} R5	R2	R3	R4	用保 R5	R2	R3	R4	7日保 R5	
3	1	標目標数(見込	100	100	100	100	10	10	10	10	64	64	63	63	
		値 実績 達成度	100	100	00%		10 10 100%				64	64	00%		
	_		旧本 ル仕								V 1 + 2/21-				
	L	分析 ————	児重・生徒	が必要とする		(いる。					全小中学校				
			アウトカム (活動効果)						·ブット 結果)				プット ·動)		
ロジ	シッ	クモデル④	支援教育の た支援を受	た支援を受けることができている。				放体不自田児川助貝の配直により、生活、訓				小中学校の肢体不自由学級に在籍する児 童・生徒のため、肢体不自由児介助員を配 置。			
	アウトカム (活動効果)							·プット 結果)				プット ·動)			
指標	指標説明		支援教育に【算出式: オ	支援が必要と認められた児童・生徒に対する 支援教育に係る満足度 【算出式:支援をしている児童・生徒数/支援 を必要とする児童・生徒数×100】 単位 %				ョ児介助を必	必要とする児	童生徒数	肢体不自由	ョ児介助員西	記置人数		
設			増加	することが且			増加	することが	良いとされる		増加	することが			
定(4)		指 標	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
4	1	数 (見込 値 実績	100	100	100	100	22 19	30	22	22	22 19	22	22	22	
		達成度	100		00%		19		1 86%		19	-:	23%		
		分析	児童・生徒	が必要とする		っている。	令和2年度と比較し、肢体不自由児が増加し				任期付短時間職員1人、会計年度任用職員				
			7	アウト			アウトプット				(通年)13人、(短期)13人を雇用し、配置し インプット				
				(活動			(活動結果)				インフット(活動)				
ロジ	ッ	クモデル⑤)充実が図ら けることがて		状況に応じ	学校看護師を配置することにより、対象幼児、 児童及び生徒の枚方市立学校園における日 常生活を支援する。				医療的ケアを必要とする幼児、児童及び生徒 のため、学校看護師を配置。				
				アウI (活動	効果)				·プット 結果)				プット ·動)		
+E.		指標説明	支援教育は【算出式:す	eと認められ。 に係る満足度 を援をしてい る児童・生徒	₹ る児童・生徒	走数/支援	学校看護師	「を必要とす	る児童生徒 単位		学校看護師	の配置人数	数 <u>単位</u>		
指標		指標種類	増加	することが良		% 指標	増加	することが	臭いとされる	人 指標	増加	することが		人 指標	
設		指	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
定 ⑤	1	数(見込み)	100	100	100	100	16	16	16	16	26	26	26	26	
		値 実績	100	100	100/		18	19	00/		30	40	40/		
		<u>達成度</u> 分析	児童·生徒	10 が必要とする	0%	っている。	119% 児童14人、生徒5人に対し、医療的ケアを行う 学校看護師を配置した。			154% のべ40人の学校臨時看護師を配置した。事 務局配置の学校看護師2人も巡回で医療的 ケアを行った。			置した。事]で医療的		

					トカム 効果)			アウト (活動	·プット 結果)		インプット (活動)			
口ジ)充実が図ら けることがで	っれ、個々の ごきている。	状況に応じ	理学療法士 生徒に対し する。		り、肢体不1 機能回復訓		肢体不自由児童・生徒のため、理学療法士を 配置。			
				(活動	トカム 効果)			アウトプット (活動結果)				イン ⁷ (活		
指	指	標説明	支援が必要と認められた児童・生徒に対する 支援教育に係る満足度 【算出式:支援をしている児童・生徒数/支援 を必要とする児童・生徒数×100】 単位				機能回復訓練の回数(小学校 54回。中学校 22回) 単位 回				理学療法士の訓練を希望する児童生徒数単位			
標	指	標種類	増加することが良いとされる指標			増加することが良いとされる指標			増加することが良いとされる指標					
設	指		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	標 (見込み)		100	100	100	100	76	76	76	76	52	52	52	52
	値 実績		100	100			81	89			65	62		
	這	述成度		10	00%			11	7%			11	9%	•
	分析 児童・生徒が必要とする支援を行っている。			児童51人、生徒11人から希望があり、派遣回数が増加した。				人数については、想定どおりであった。						

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	3.00
任期付職員	0.86
会計年度任用職員	44.03
特別職非常勤	3.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	47,076	31,764	27,312		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	123,470	150,268	159,201		
歳	件	特別職非常勤	-	10	10		
出	費	附属機関委員	1	0	0		
ш		人件費計	170,546	182,042	186,523		
	物件	費計	18,130	15,747	17,101	17,556	97%
		歳出計	188,676	194,847	203,624		
		支出金	8,856	13,215	11,643	17,889	
	府支		5,794	7,472	2,393	3,853	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	14,650	2,108	14,036	21,742	
		一般財源	174,026	10,697	3,065	▲ 4,186	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>支援学級は年々増加しており、令和3年度は小学校263学級(前年度比 10増)、中学校は89教室(前年度比 7増)であった。支援を必要とする児 童・生徒すべてに個々の状況に応じた対応ができた。

今後の方向性 区分

拡充

今後の

国・府の通知により、令和5年度からの支援教育の制度変更に伴う人員配置や教育環境の整備について令和4年度中に進めていく必要がある。今 取組方針 後も、障害のある児童・生徒の個々の状況に応じた学びの場の確保や社会的障壁を取り除くための合理的配慮を行い、教育の環境を整えていく。

事系	务事	業実績	責測定調	書										
事	務事	業名称	通学困難児	童•生徒通	学等タクミ	/一支援事業								
	測定:	年度	202	1(R3)年度	:		部	Ä	学校教育部		課	児童	直生徒支援	課
市長	公約	との関係	所信表明	月	ī	市政運営方針	R2		R3		R4			
			1	基本目標	3	.一人ひとりの	成長を支え	、豊かな心を	育むまち					
総	合計i	画体系	方	拖策目標	1	6.子どもたちの)生きる力を	:育む教育が	充実したま	ち				
		— JIV — ID		行計画名										
1. 事		事業の概		⊐ 11 13 2		#+ #4		/44 Ttu T	L = W		E //		60. 	<u> کالد حلت جا</u>
-	事業:		巾!	<u> 1074 (</u> s	49)年度	特性	年度	選択日	り事業		区分		一般事務	6争業 年度まで
		間間 合等	決裁	1974(3	49) 平及		十尺	~						中及より
		金名称	17.134							サンセット			~	
		機関名称								ランピカ ド				
天	別馬	成因口仰	メインタ-	ーゲット		山田の信気	アトヘア涌岸	を国権な国金	+. 仕往					
				メインターゲット										
:	事業:	対象		カーゲットが切って迎										
			(徒歩による通学が困難で、学校を欠席することが多い。											
			ターゲットだ 別	<u>-</u> 「抱える課										
k	かざす	- 姿	N.	3										
あるべき姿														
(課題	が解態	!決した状)		2/1/11/	200100	/\ Шліі ii	7 <u>0</u> 7,007C7	() [A]	C 97/11 07 C 7	/ / WIXA	7 <u>1</u> 7,107C-17()	0EV0		
	事業	細曲	枚方市立/ 援金の交付		在籍する	技体不自由児	や腎炎・ネ	フローゼ児等	・通学が困動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	雑な児童・生	徒のタクシー	-利用による	通学費用に	こ対して、支
	学 未作	以女			支援学校	等に在籍する	通学が困難	な児童・生徒	‡ のタクシー	利用による	通学費用に	対して、支援	金の交付を	行う。
												, , , , ,	, , , , , ,	-1170
2. 🗆	コジッ	クモデル	及び指標	設定										
					トカム		アウトプット (活動結果)					イン		
				(石男	効果)		(活動結果)					(活	劉)	
D 3	ジック	モデル				り、出席日数 たりする機会	通学タクシー支援により、対象児童が通学で				枚方市立小中学校に在籍する肢体不自由児 や腎炎・ネフローゼ児等を対象とした、通学タ			
			が増加した		F (C) 70FC	TE) JUNIA	きる機会を増やす。					る支援を実		72(22 1)
					トカム b効果)			アウト (活動	·ブット 結果)			イン: (活	プット 動)	
指標説明			タクシーチク	ケットを使用	した目のと	出席日数	通学タクシ	ーチケット利	用枚数		通学タクシー	一利用申請	者数	
					単位	月			単位	枚	1		単位	人
		標種類		することが.				ロすることが良]することが』		
標設	指	日信	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	標数	(見込み)	1,455	1,198	1,198	1,198	240	2,000	2,000	2,000	40	40	40	40
	値	実績	1,198	728			2,101	1,115			36	36		
	ì	達成度		6	1%			56	5%			90	0%	
		分析	利用児童・生 児童・生徒			が、毎日利用		生徒数に変 数が8名から	. —		想定通りで	あった。		

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.36
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	2,245	1,994	2,829		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
歳	件	特別職非常勤	1	0	0		
出	費	附属機関委員	1	0	0		
ш		人件費計	2,245	1,994	2,829		
	物件	費計	2,437	2,286	1,144	3,731	31%
		歳出計	4,682	4,280	3,973		
	国庫	支出金	0	0	0	0	
		出金	0	0	0	0	
歳	受益	者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
入	市債		0	0	0	0	
	その		0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0	
		一般財源	4,682	2,286	1,144	3,731	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>毎日利用の児童・生徒6人、雨天時利用の児童・生徒30人に対して、支援金を交付した。雨天時利用の児童・生徒に関しては利用回数が少なく、執 行額が少なかった。新型コロナウイルス感染症の予防等による登校控えや校外学習の時期変更によるものと思われる。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持

今後の 引き続き、肢体不自由等児童・生徒の通学に援助を行っていく。 取組方針

車		· 末 天 飛 業名称	責測定調	□ 安全対策事業	Ě									
_	測定年			21(R3)年度	K .		部	A	学校教育部	ik	課	I.P.·	童生徒支援	課
		<u>- ル</u> との関係	所信表			政運営方針	R2		R3	17	R4	76.	<u> </u>	H/K
11, 12	. 4 1 1			基本目標		一人ひとりの		、豊かな心を			111			
総	合計画	画体系		施策目標	16	.子どもたちの	り生きる力を	:育む教育が	充実したる	まち				
1]	巨茲重	事業の概		《行計画名										
1. 3	種类			民サービス		特性		選択自	的事業		区分		一般事務	8事業
	事業其			R3年度(2	021年度)		年度	~		·				年度まで
	長拠法		決裁							IIs I. I				
]金名称 機関名称								サンセット			~	
闭床	叫馬尔	成因石砂	メインタ	ーゲット	小中学生									
	事業対	い名		ーゲット		に勤務する勢	な職員							
	争未入	约	ターゲットフ	が抱える課		田識を身に付		/. 更						
				ほんころ 一	加るこのと	中戦で分に口	11/20-01/2	少女						
			_	が抱える課題										
đ	めざす あるべ 夏が解: 態)	き姿 決した状	小中学校に	こおいて、危	機事象が起	足きた場合に	適切に対応	できる力を身	身に付ける	'o				
	事業概	既要	(2) 小中学 (3) 小学校 (4) 小学校	を校において、 をにおいて、 をにおいて、	、一般的な 胸骨圧迫と 防災キャン	Eマニュアルを 安全指導の AEDの取り プを実施する 信システムを	ほか、交通 扱いに特化)。	安全教室等した救命講習	を実施する 習を実施す) _o	・体的な対応	を関係機関	見、保護者に	提供する
2. 🗆	コジッ	クモデル	及び指標	設定										
			アウトカム						プット		インプット			
				(活動	効果)		(活動結果)				(活動)			
	ジック -	モデル	命を守る安	全意識が向	上する。					E施により、児 るきっかけに	小甲字仪は	こおいて、一 枚室等を実が	・般の安全指 徳	うりゅう
			アウトカム (活動効果)						·プット i結果)				プット :動)	
	指	標説明	児童、生徒	の事故等遭	遇件数		安全教室を	を実施した回	数		交通安全教 学校数。)	重安全教室を	と実施した
+15	+61	 面 1毛 米 百	J. 4C	、ナファしぶに	単位	件	単位回			単位			校	
指標	指	標種類	减少 R2	>することが良 R3	えいとされる R4	D指標 R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
標設定	標	日標	0	0	0	0	109	109	107	107	64	64	63	63
疋	数	(見込 み)			U	U			107	107			0.5	69
	値	実績	3	5	0/		0	82	Fa/		0	55	00/	
	達	を		0	%		75%				86%			
	3	分析	交通事故に	こついては56			緊急事態宣言により、交通安全教室の日程が とれなかった。				中学校自転車交通安全教室が実施できな かった学校は1中学校、小学校の歩行及び 転車の交通安全教室ともに開催できなった: 校が8校あったが、それ以外は開催できた。			
					-カム 効果)				·プット i結果)				プット :動)	
	シックモ	ミデル②	命を守る安	全意識が向			救命講習を付ける。			、知識を身に		おいて、胸骨		
ロジ					-カム 効果)				トプット I結果)				プット 動)	
ロジ			(活動効果)				救命講習を	と実施した回	数		救命講習を	と実施した核	数	
ロジ	46.1	∔≖ ≑∺ no	児童、生徒	児童、生徒の事故等遭遇件数										1-7-
ロジ	指	標説明	児童、生徒		1474	4/1.			単位	日	-		単位	校
指				ゝすることがF	単位	件								
指	指指	標種類		>することが目 R3		指標 R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
指	指標	標種類	減少		良いとされる	5指標	R2 45	R3 45	R4 44	R5 44	R2 45	R3 45	R4 44	R5 44
指標設定	指指	標種類	減少 R2	R3	良いとされる R4	5指標 R5								
指標設定②	指標数値	標種類 (見込 み)	減少 R2 0	R3 0	良いとされる R4	5指標 R5	45	45 42			45	45 42		

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	1.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。 (チ円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
		正職員、再任用、任期付	1	_	9,821		
	人	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1	_	0		
歳	件	特別職非常勤	-	I	0		
出	費	附属機関委員	-	I	0		
ш		人件費計	_	_	9,821		
	物件		-	I	3,061	4,126	74%
		歳出計	_	I	12,882		
	国庫	支出金	-	I	0	0	
	府支		1	I	0	0	
歳		者負担(使用料・手数料)	_	ı	0	0	
入	市債		_	-	0	0	
	その		-	I	566	1,500	
		歳入計	_	_	566	1,500	
		一般財源	_	_	2,495	2,626	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3小学校で予定していた防災キャンプが開催できなかったが、令和2年度に比べ、交通安全教室や救 命講習を開催することができ、危機事象が起きた場合に適切に対応できる力を養うことができた。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持

今後の 取組方針

令和4年度も引き続き実施できる範囲で交通安全教室や救命講習、防災キャンプを実施し、子どもの安全意識の向上をめざす。

事系	务事	業実約	責測定調	書										
		業名称	児童生徒支援課運営事務											
	測定年	年度	2021(R3)年度				部	į	学校教育部		課	児:	児童生徒支援課	
市長公約との関係		との関係	所信表明	F		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系			基	本目標		9.施策体系外		<u> </u>					ļ	
		施策目標		99.施策体系外										
		実行計画名												
1. 事務事業の概			Laura Arche		d ± 1 d		-1-76	11 -1-76					tete arri ala 76a	
	種類 事業期間		内部管理			特性		庶務的事務		区分 庶務的内部管理		管理事務 年度まで		
	事未見 艮拠法		决裁等				年度 ~							中及より
		· □ ਚ 〕金名称	八双寸							サンセット				
		選問名称 機関名称								サンセット			~	
判派	別周1	成岗石机	115	L*1	日本仏	公士松细 聯只								
			メインター		児里生	徒支援課職員								
	事業対	対象	サブター											
			ターゲットが抱える課課の運営を円滑に図る必要がある。											
			ターゲットか											
	<u> </u>	- `^r	題											
	めざす あるべ													
(課題	が解	決した状	課の運営が円滑に行われている。											
	態													
事業概要			室の運営業務											
2. 🗆	ジッ	クモデル	及び指標語	设定										
		• • •			トカム			アウト	プット			イン	プット	
			(活動効果)				(活動結果)				(活動)			
	ジック	モデル												
·		-,,,												
			アウトカム				アウトプット				インプット			
			(活動効果)				(活動結果)				(活動)			
	指標説明													
指標設定														
			2274			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				
	- 指:	標種類			単位	<u>.</u>			単位				単位	
	指標数値	水 土人	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		日 信 (見込												
		<i>み</i>)												
		実績 態成度												
	Æ	EI从区												
	分析													

3. 人員体制	(人)
	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、冉任用、任期付」の人件質については、人員配置をもとに平均人件質を乗算しています。 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に

充当されるものも含まれています。 (千円)

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	件	正職員、再任用、任期付			3,143		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)			1,136		
		特別職非常勤			0		
		附属機関委員			0		
		人件費計			4,279		
	物件				543	586	93%
		歳出計			4,822		
		支出金			0	0	
歳入	府支				0	0	
	受益	者負担(使用料·手数料)			0	0	
	市債				0	0	
	その				0	0	
		歳入計			0	0	
一般財源					543	586	

5. 総括的分析

<mark>総括的分析</mark>新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で予算化していた負担金(メチャハピー祭参加費)や使用料及び賃借料(公用バスの代替バス使用料)に ついては執行できなかったが、その他は適正に運用できた。

6. 今後の方向性 区分 現 現状維持 今後の 今後も適正に予算執行をしていく。 取組方針